組合機關の構成を示せば左の通りである。（附圖參照）

C　大左翼主義の社會的根據

(イ)イギリスやドイツに於ては、勞働組合は、左右兩翼に分裂してゐない。左翼派は、組合内の反對派として活動を續けてゐる。

(ロ)我國に於ては、雜誌勞農の諸君が、極力、左右全組合の統一を主張し、右翼組合に對立して獨立の左翼組合を樹立することを、絶對的誤謬だと稱してゐる。

(ハ)左翼が、統一されたる勞働組合の内部で活動すべきであるか、それとも、獨立の組合を樹立すべきであるかは、客觀狀勢の如何によつて異る、それは抽象な論議によつて決定さるべき問題ではない。

(ニ)我國に於ては、無論、右翼組合と對立して左翼勞働組合の確立、擴大、强化を計ることが、絶對に正しき政策である。何となれば

一、階級性を放棄することなくして、右翼組合との合同を實現することは絶對に不可能であるから。

二、我國に於ては、組織可能勞働者數の約九十パーセントが未組織であり、したがつて、未組織勞働者の獲得が問題の中心をなしてゐるのであるから。

(ホ)ドイツやイギリスに於ては、數百萬の大衆が、指導部の政治的意見の對立が今日の如く尖鋭化されない以前に、既に勞働組合に結集されてゐた。そしてその大衆の壓力で今日、左翼は右翼ダラ幹共の分裂政策を阻止し得てゐるのである。さうした條件を全く備へてゐない——特に總同盟と評議會との分裂以來——我國に於て既に對立してゐる左右兩翼の組合を新に統一せしめようとするやうなことは、完全に空想である、もし强いて統一を求めやうとすれば、左翼は自己の階級的主張を完全に放棄してかゝらなければならない。さうなれば、その統一は事實上『右翼への戰線統一』であつて何等鬪爭のための統一たり得ない。

(ヘ)殊に未組織大衆が全勞働者數の九十パーセントもある我國の場合は、イギリスやドイツの場合とは餘ほど事情が異ふ。僅か十パーセントの範圍内に於ける統一戰線は、よしそれに階級的意義があり得てもドイツやイギリスの場合ほど重大な意義を持つてゐない。我國の場合には問題の中心は、寧ろ如何にして、未組織大衆を左翼の旗の下に統一

するかに在る。この意味からすれば、左翼が自己の旗色を明確にして進むことには絶大な階級的意義があるのだ。

D　全協の指導部と我々との見解の相違（略）

E　大左翼勞働組合と國際的指導部との關係（略）

二、未組織の組織化に關する方針

A　大工場大經營へ！

(イ)大工場、大經營へ組織を確立しろといふ叫びは、隨分長い間叫びつゞけられて來たが、我々は殘念ながら、まだ大工場、大經營へ組織を確立してゐない。總評系の組合で大工場へ基礎をもつてゐるものは、ほんの僅かだ、此の際科學的方法を樹立し、全力を擧げて大工場大經營を組織化することが、我々に課せられてゐる當面の中心任務だ。大工場、大經營を組織化することなくしては、ゼネストだとか、政治鬪爭だとか言ふてみたところでマルツキリ問題にならない。

(ロ)無論大工場、大經營の組織化は決して容易なわざではない。小さな町工場の勞働者なら、少しアジビラをまいたり、演説會でもやれば、向ふから組合の事務所へやつて來るし、またある場合には、向ふから爭議の指導を依頼して來ることもある。だが、大工場の勞働者になると、向ふから組合の事務所へやつて來たり、爭議の指導を依頼して來るといふやうなことは殆んどない。それは大工場では、監督制度、スパイ制度が嚴重に出來上つてゐて、うつかり、組合へ出入りするとすぐ首になる、といつたやうな危險が非常に多いからだ。

(ハ)殊に總同盟や總聯合のやうなダラ幹組合の組織のあるところでは、その組合の大ダラ小ダラ共が、事實上、スパイの役割をつとめてゐて、一寸、左翼のビラでも入ると、『誰れか總評の方へ行く奴はないか』といつたやうなことを血まなこになつて監視する。そして、彼奴等は、左翼のグループが出來たのを知ると、すぐに會社へ密告して、二束のうちにそれを破壞して了ふやうなことを平氣でやるのだ。だから、よほど嚴密な計畫を樹てゝ、執拗な働きかけをやるのでなければ、大工場を組織化するやうなことは絶對